

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 268

所管部局	福祉部	所管課	子育て支援課	担当者名	高橋 伸夫
事業名	入学祝金支給事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	入学祝金支給事業			政策体系	112
会計	一般会計	科目	3.民生 - 2.児童 - 1.児童		

## 1. 事業の概要

南丹市に居住されている児童が小・中学校に入学をされた場合に、保護者に小学校は3万円、中学校は4万円の入学祝金を支給する事業。

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

出生率が低下する中で、安心して子どもを生み育てることを支援する事業。  
出生率の引き上げを目指す。

### ②事業を実施する必要性

安心して子育てができるように子育て世代への経済的支援が必要とされている。

## 3. 事業費の推移

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額		千円	29,000	29,100	27,350	21,770	20,950	23,220	23,220
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	29,000	29,100	27,350	21,770	20,950	23,220	23,220
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.15	0.25				
人件費	千円	—	—	1,107	1,437				
事業費総額	千円	—	—	28,457	23,207				

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

入学祝金 21,770,000円

## 5. 事業結果の概要

少子高齢化が進み、安心して子育てができる環境づくりが求められている中で、児童の入学をお祝いするとともに子育て世帯を経済的に支援する取り組みを進めた。小学校263人、中学校347人

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 案内		
広報紙への掲載及び対象者への個別案内を行う。	4月	
(2) 申請・決定		
子育て支援課及び各支所健康福祉課で申請書及び添付書類の受付を行い、子育て支援課で審査を行って支給決定を行う。指定預金口座に振込みを行う。	4月から6月まで	支給件数 小学校 250人 中学校 297人

## 7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

南丹市の独自施策として展開してきた事業であるが、国の新しい子育て支援への制度の充実が開始をされる中で、入学祝金事業については、支給要件は拡充したものの、支給金額については見直しを実施したところである。今後も子育て支援条例に基づき、少子化対策に必要な支援事業として、現物支給等への協議も進めながら、継続していく方向であり、祝金事業だけでなく、総合的な子育て支援、また少子化対策事業の充実、推進を図っていく必要がある。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
事業の内容について、南丹市子育て支援条例と併せて検討を行った。
- ②当該事業のアピール事項  
子育て世代を経済的に支援する取り組みを進めた。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
制度の内容について国等の施策を踏まえて検討を進める。